

〈大学生SDGs座談会 参加大学生の日頃の活動紹介〉

(上:大学名、団体名、参加者氏名 下:活動紹介)

獨協大学 環境・国際団体 Deco 坂野太郎さん、滝田大翔さん	東京農工大学 ごみダイエツトNOKO 田口優さん	新潟県立大学 新潟環境ネットワーク N-Econet 稲月琴子さん、石川万慈さん
「サルベージ」活動を中心に地域活動を行っている。「サルベージ」とは川に落ちている自転車やバイクを引き上げる作業のことで、2017年には1000台の引き上げを突破した。他にも学内でPETキャップ回収や傘のリユースなど様々な活動に取り組んでいる。	東京農工大学の農ゼミに所属するサークルで、自治体イベントでのエコレンジャーショー披露や、農学部学園祭での非木材紙トレイ普及とその堆肥化など様々な活動を通じて、環境状況の改善や環境への関心を高めてもらうことを目的に活動している。	新潟県内で環境活動やボランティア活動する学生のネットワークを形成している。ネットワークを活性化させることでモチベーションの向上や活動の発展を目指す。
国際基督教大学 ICU SUSTENA 井原菜緒さん、二村紗未さん	近畿大学 農学部 学生団体 Feelink 奥太志さん、加藤雅基さん	法政大学 キャンパス・エコロジー・フォーラム 大谷霞さん、松林倭太さん、石川七美さん
一般教養科目の「環境研究」で出た学生のアイデアから生まれた団体。学内の環境意識を高め、自然環境について考えるきっかけを与えるために学生主体で活動している。メンバーは環境配慮のための活動を自分自身で計画して実行している。	次世代環境を切り開く人材を育成することを目的に発足。人と環境の架け橋になることをキーワードに、環境教育や緑化活動による環境啓発を行っている。学内の里山をフィールドとし、耕作放棄地を活用した畑の管理、ビオトープの保全活動に取り組んでいる。	1999年に発足した法政大学公認の環境系サークル。棚田班、里山班、学祭班、企画班、ごみ班、エコライフ班などといった班に分かれて活動を行っている。メンバーには、学生のほかに社会人学生や教職員も参加し、多様な活動につなげている。



全国ユース環境ネットワーク『全国大学生環境活動団体調査』のご案内

～ 全国では、どの大学（団体）がどんな環境活動に取り組んでいるのだろうか？ ～

全国ユース環境ネットワーク事務局では、全国大学生環境活動コンテスト（エココン）実行委員会の協力を得て、新型コロナウイルスの影響が広がる中、大学生の環境活動団体の状況を把握するために「全国大学生環境活動団体調査」を実施しています。調査にご協力、ご回答をいただける大学生（団体）のみなさま、どうぞお気軽に下記事務局までご連絡ください。回答フォームなど、ご連絡いたします。ご協力をお願いいたします。

団体調査 主な質問

- ・ 団体名、代表者名、団体概要など
- ・ 団体の活動種別、活動内容など
- ・ 活動写真、活動イメージ写真など
- ・ ご意見、ご要望など

調査結果の公開

調査結果は、全国ユース環境ネットワーク事務局発行のユース情報誌に掲載し、全国約100大学の環境団体、全国の高校、環境省など関係機関への配布を予定しています。また、当ユースホームページなどにもアップする予定です。

全国大学生環境活動コンテスト（エココン）とは

大学生の環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現を目指し、学生ネットワークの形成、座談会（交流会）の実施、年に1度の全国大学生環境活動コンテスト（通称：ecocon）を行っています。ecoconは2003年より毎年開催しており、第18回までにのべ700団体以上、総勢1万人以上が参加するなど、学生の環境活動の中での役割を確立しています。



独立行政法人環境再生保全機構は、全国大学生環境活動コンテスト（ecocon）を共催しています。

〈お問合せ〉

◆全国ユース環境ネットワーク事務局

tel: 044-520-9505 mail: youth@erca.go.jp

◆全国大学生環境活動コンテスト（エココン）実行委員会

tel: 03-5402-5355 mail: support@ecocon.info（株式会社ダイナックス都市環境研究所内）

